

日立市こども計画 ひたち子どもプラン 2025（素案）に対する パブリックコメント手続実施結果について

1 実施概要

- (1) 募集期間 令和6年12月6日（金）から令和7年1月6日（月）まで
- (2) 公開資料 日立市こども計画 ひたち子どもプラン 2025（素案）
日立市こども計画 ひたち子どもプラン 2025（素案）概要版
日立市こども計画 ひたち子どもプラン 2025（素案）やさしい概要版
- (3) 閲覧方法 市ホームページ、日立市役所本庁舎1階子育て支援課及び1階情報センター、各支所、日立駅前出張所、各交流センター、各図書館、子どもセンター、子どもすくすくセンター、教育プラザ、Hiタッチらんど・ハレニコ！における閲覧
- (4) 周知方法 市ホームページ、市報、市公式LINE、ポスターの掲示

2 結果概要

(1) 意見の提出状況

人数	意見数
55 人	98 件

※意見の提出状況のうち、こども向けのやさしい概要版により、10人、20件の意見提出

(2) 意見の分類

No	項目	意見数
1	「基本目標Ⅰ 未来を担うこどもの成長を支える」 (対象：こども本人)に関する意見	36 件
2	「基本目標Ⅱ 安心してこどもを産み育てられる環境を整備する」 (対象：子育て家庭)に関する意見	22 件
3	「基本目標Ⅲ 配慮が必要なこどもと家庭を支援する」 (対象：配慮が必要なこどもと家庭)に関する意見	9 件
4	「基本目標Ⅳ 若者の希望の実現と社会的自立を応援する」 (対象：若者本人とその家庭)に関する意見	6 件
5	その他の意見	25 件

(3) 計画への反映状況

区分	意見数	略語
計画に意見を反映するもの	2 件	【意見反映】
既に意見の趣旨が計画に含まれているもの	50 件	【趣旨含む】
計画は修正しないが、今後の参考とするもの	43 件	【参考】
その他（意見募集の趣旨と異なるもの、質問など）	3 件	【その他】

3 意見反映による修正内容

意見の概要	意見数	修正内容	修正理由
赤ちゃんから青年期まで、全てのライフスタイルに目を向けていることは素晴らしいが、こどもが権利の主体であることが感じられない。	1	本計画書中に、こどもの権利について、考え方などの詳しい内容をこどもでも分かり易い優しい言葉で記載しました。(P.6)	こどもの権利の具体的な内容を、より分かり易くするため。
社会的孤立し、困難に直面する若者とその家族に対する支援は、家族会など心を開いて語り合える場が有効と聞いた。 家族会のように集まれる場の提供や、会の主催者への支援を進めてほしい。	1	本人や家族の集いの場として、社会福祉協議会が実施している居場所づくり事業「ふれあい菜園」について、施策の方向性IV-3生きづらさを抱えた若者への支援の主な取組として追記しました。(P.89、90)	実施事業について、計画への記載が漏れていたため。

4 意見の概要と市の考え方【一般】

(1)「基本目標Ⅰ 未来を担うこどもの成長を支える」(対象：こども本人)に関する意見

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
1	赤ちゃんから青年期まで、全てのライフスタイルに目を向けていることは素晴らしいが、こどもが権利の主体であることが感じられない。	1	こどもが権利の主体であることを社会全体で認識できるよう、周知啓発に努めます。 また、本計画に、こども基本法の内容などについてわかり易く記載するなど、情報発信に努めます。	意見反映	6
2	1、2歳児が認可保育園へ入園するためのハードルが高い。申込時の点数の高い方が優先され、仕方なく自宅保育をしている。 共働きが増えるなか、働きたい方の社会進出の妨げになっていると感じる。この問題を解決するため、市独自に、保育士を増やす、待遇を改善する施策を検討いただきたい。	1	保育士の確保については、公私立を問わず喫緊の課題であり、保育サービスの提供に必要不可欠です。 そのため、今後も国などの制度を活用しながら、保育士への更なる処遇改善をはじめ、職場環境の改善や業務負担の軽減に向けた取組を進めるとともに、短時間勤務など就労ニーズに応じた働き方を提供し、離職防止など保育士の確保に努めます。	趣旨含む	51、52

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
3	「保育定員の拡大」と記載があるが、公務員保育者の枠は拡大しないのか。	1	計画（素案）の「保育定員の拡大」は、幼稚園の認定こども園化などによる定員増加を見込んだものですが、現時点において、個別具体施設の整備計画は未定であることから、公立施設における保育士の採用枠の拡大も未定です。	その他	—
4	幼稚園などの1号認定で、希望していた園に入園できなかった。希望した園に入園できるようになってほしい。	1	保育認定（2号及び3号）の利用者数は、過去5年間でほぼ横ばいで推移していますが、教育認定（1号）の利用者は年々減少しているため、教育認定の利用定員を拡充することは難しい状況です。	参考	—
5	こどもの預け先である保育施設と、保護者の職場との連携が大事である。何かあった時に連絡がスムーズにいくよう、情報共有をしっかりとしてほしい。 また、保護者が安心して就労できるよう、保護者と保育施設、職場などの信頼関係をしっかりと築いてほしい。	1	保護者の皆さんが安心してお子さんを預け、働き続けるためには、園と保護者の連携はもちろんのこと、保護者と職場の協力関係の構築も重要であると考えています。 引き続き、園と保護者などの連携が図られ、緊急時に迅速な連絡が取れるよう、園への指導を徹底していきます。	参考	—
6	待機児童の中で、入りたい園に入れず待機している児童がどのくらいいるのかのデータがない。	1	特定の保育園などを希望するなどして入園保留になっている児童数については、国の定義上、待機児童に含まれないことから、掲載していません。 待機児童や入園保留の児童が発生しないよう、計画的な定員の確保に努めます。	参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
7	保育園の入園について、きょうだいの点数を加点するなど、きょうだいと同じ園に入ることができないという課題を解決してほしい。	2	既に兄弟姉妹が入園している保育園などへの入園を希望する場合や、兄弟姉妹が入園している保育園などに入園を希望するが、やむを得ず他の保育園なども追加で希望する場合は、市の利用調整基準に従い必要な加点をした上で点数化しています。 本市では、現在も定員不足により年度途中に待機児童が発生しているため、兄弟姉妹と同一の園への入園については、ご希望に添えない可能性があります。 引き続き、幼稚園の認定こども園化などへの支援を行いながら、保育の提供体制の確保に努めます。	趣旨含む	51、52
8	こどもへの支援、家庭への経済的な支援は充実しているが、保育施設などの受け皿（保育士の確保）も重要である。 また、保育免許を持っても長く幼稚園で働いていた場合、3歳未満児を担当するのは不安である。保育ニーズに対応するため、保育者への支援を手厚くしてほしい。	1	保育士の確保については、公私立を問わず喫緊の課題であり、保育サービスの提供に必要不可欠です。 そのため、今後も国などの制度を活用しながら、保育士への更なる処遇改善をはじめ、職場環境の改善や業務負担の軽減に向けた取組を進め、離職防止など保育士の確保を図ります。 また、研修機会の充実を図り、保育士などの指導力向上に向けた支援を行います。	趣旨含む	51、52
9	保育サービスの充実は重要な施策であると思う。こども、保護者支援と保育者の待遇改善を両立した施策があるとよい。	1	本市では第2子の保育料を独自で無償化しているほか、国の施策に従い、保育士の処遇改善などへの支援を行っているところです。 今後も保護者の経済的負担の軽減や保育士の処遇の維持・向上に努めます。	趣旨含む	51、52
10	地域型保育事業について、市の具体的な事業を知りたい。	1	地域型保育事業は、原則として満3歳未満の乳幼児を保育する事業です。本市では、保育者の居宅において、定員5人以下の少人数で保育を行う「家庭的保育事業所」2か所を認可しています。	その他	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
11	近年、小学生からスマートフォンを持たせる家庭が多い。インターネットや SNS を通じた犯罪などから子どもを守るための安全対策は、できる限り早い年齢から行うべきである。	1	青少年を守るためのインターネット安全利用に関する啓発物の配布、インターネットを利用する時のルールやマナー標語の募集などにより、犯罪被害の未然防止に努めています。 引き続き、子どもたちへ広く意識啓発を行い、インターネット安全利用の推進に取り組みます。	趣旨含む	53
12	放課後のこどもの遊び場について、公園は遊び方が制限され、小学校の校庭開放では、児童クラブのこどもの利用が優先されており、遊び場が少ないと感じている。 また、地域の体育館やスポーツ広場は予約制で、大人と一緒に利用できず、就学前のこどもの遊び場は増えているが、小中学生の放課後の遊び場が少なく、確保が必要である。	1	放課後の小学校の校庭開放において、児童クラブの児童でも、それ以外の児童であっても使用条件は同じとなっています。 公園の利用について、市内公園などにおいては、原則、子どもたちの遊びを制限するものはございませんが、団地など、住宅が隣接して公園が設置されている一部の地域においては、地元自治会などが、野球やサッカーなどの球技や自転車遊びを禁止している公園も一部あります。 今後も、全ての小学生を対象とした放課後子ども教室や、安全に安心して過ごせる居場所づくりなど、豊かな体験ができる機会の充実に努めていきます。	趣旨含む	55、57、59、69、72
13	自由に安心して遊べる公園が少ない。 こどもの遊びは、成長に欠かせない学びの場であるため、プレイワーカーを配置したプレイパークをつくってほしい。	1	こどもの健やかな成長のため、多様な体験や遊びの機会を創出することは、大変重要であると認識しています。 公園整備については、「日立市公園すてき化整備計画」に基づき、公園の機能再編を含め安全安心な公園づくりを進めます。 いただいたご意見は、関係課所と共有し、施策検討の参考とさせていただきます。	参考	—
14	公園にこどもとよく遊びに行くが、どの公園も同じような遊具が設置されているため、アスレチックのような変わった遊具も設置してもらいたい。(ヒカリモ公園や山吹公園のような大きな遊具)	1		参考	—
15	室内のこどもの遊び場をさらに増やしてほしい。	1		参考	—
16	おもちゃライブラリーについて、古いおもちゃは今流行しているものに更新してほしい。また、実施時間が短いため、午後も実施してほしい。	1		参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
17	Hi タッチ・らんど・ハレニコ！について、申請書を書くことが手間のため、アプリなどを導入し、再入場も可としてほしい。また、無料エリアと有料エリアのおもちゃ・遊具が似ていて違いもなく、数が少ない。タイヤが取れそうな三輪車もあった。雨の日や土日は混雑して利用しにくいいため、ヒタチエ以外の場所でも、土日に利用ができ、親が休めるカフェを併設した施設をつくってほしい。	1	ハレニコの施設入場の際の混雑を解消するため、現在、ネットからの入場券購入システムの導入を検討しています。遊具の経年劣化による更新作業は引き続き実施していきます。 今後も、子育て当事者がゆとりを持ってこどもに向き合えるよう、子育て環境の整備推進に努めます。	参考	—
18	Hi タッチ・らんど・ハレニコ！について、親はゆっくり過ごししながら、こどもが遊べるとよい。	1	ハレニコの利用については、保護者などが同伴し、安全に遊ばせることが条件となっています。 子育てサポートエリアの一時預かりを利用し、こどもをみてもらいながら、近くのカフェで休息する事ができます。	参考	—
19	Hi タッチ・らんど・ハレニコ！の取組がすごく良い。安い料金で楽しむことができ、ショッピングモールの中にあるので地域の活性化にも繋がる。 また、ハレニコを利用者は、2階のフードコートに行くと割引価格でご飯を食べられるといった保護者にも優しい取組を行っていて、ハレニコ以外にもお店に行く機会ができる。	1	お子様連れにとって快適な場所の創出に努め、市民の皆さんはもとより市外の方も頻繁に足を運んでいただけるような魅力ある施設作りを行っていきます。 2階フードコートをはじめ、幅広い年代の方が利用できるよう、テナント誘致及び運営に向けた事業者支援を継続していきます。	参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
20	放課後の居場所づくりは、部活をやっていない中学生や休日のこどもの居場所も必要である。 また、学校へ行けないこどもの居場所は多種多様（公的、NPO）であるべき。フリースクールの費用の補助（無料）を検討いただきたい。	1	全てのこどもの健やかな成長のため、安心して過ごせる多くの居場所を持つことは重要であるため、こどもの居場所づくりについて、施策の充実に努めます。 茨城県では、学校以外の学びの場の一つである「フリースクール」を支援するため、「フリースクール連携推進事業」を実施しており、一定の条件を満たしたフリースクールに対する運営費補助と、それらの利用を希望する経済的な事情のある世帯に対して授業料などを補助する支援制度があります。 本市においては、県の補助制度の周知を図るとともに、先進自治体の事例などを参考に検討していきます。	参考	—
21	「ラーケーション」が始まり、学校外での学びがスタートしたため、市内で保護者とこどもと一緒に遊べる場所、施設、イベントなどの環境をもっと整えてほしい。	1	ラーケーションは、こどもが平日学校を休み、家族と体験活動などを行うことで学びを深めることを目的として、令和6年度から導入しました。 子育て中の親子に対する体験や遊びの機会創出については、いただいたご意見を関係課所と共有し、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	参考	—
22	常陸多賀駅や大甕駅前に自習スペースが少なく、少し不便であると感じている。 公共施設などに、東海駅前にある自習スペースや交流スペースを増やし、勉強したり交流できる場としてほしい。	2	本市においては、日常的に利用できる学習スペースとして、記念図書館及び教育プラザ内に学習室を設けています。多賀図書館では、1階の飲食可能な交流スペースと、2階の参考図書室などを自習スペースとして開放しています。 また、全ての交流センター内に、予約なしでも使えるフリースペースを設置し、誰でも気軽に立ち寄れる親しみやすい空間として開放しています。 今後も、全てのこどもの健やかな成長のため、安心して過ごせる多くの居場所を持つことができるよう、施策の充実に努めてます。	趣旨含む	59

(2)「基本目標Ⅱ 安心して子どもを産み育てられる環境を整備する」(対象：子育て家庭)に関する意見

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
23	市独自の施策である「お誕生おめでとう事業」のような取組があると、これから産む人はとても励みになる。	2	いただいたご意見は、今後の施策展開の参考とさせていただきます。	参考	—
24	不安が多い妊娠初期において、母子学級など妊婦同士のコミュニティ作りができる場が欲しい。	1	マタニティスクール(母親学級)において、グループワークなどを実施し、妊婦同士の交流や情報交換などにより、悩みや不安の軽減ができるよう支援に努めています。	趣旨含む	60～62
25	母親が家事育児で心の余裕がなくなり、子どもに対する虐待に繋がる可能性があると思う。産前、産後ママサポート事業の家事支援などの取組で母親の負担を減らすことで、虐待防止にも繋がると感じた。	1	子育て当事者が不安感や孤独感を抱くことなく、心にゆとりを持って子どもに向き合えるよう、相談体制の整備や産前産後の家事支援など、妊娠出産から子育てまで切れ目のない支援に取り組んでいます。 また、児童虐待防止対策については、児童虐待防止の周知・啓発や関係機関と連携した早期発見に努め、今後も安心して子育てできる環境整備を推進していきます。	趣旨含む	計画 全体
26	妊娠してから出産までの経済的支援が足りない。妊婦健診などの負担が大きく、大変なイメージがあるため、費用負担の支援があるとよい。	1	妊婦健診については、国の示す標準的な妊婦健康診査14回に加え、出産予定日を過ぎて出産する方に対し17回まで延長して健診費用の助成を行い、経済的負担の軽減を図っています。 また、令和4年度から開始した「出産・子育て応援事業」が、令和7年度から制度化され、「妊婦のための支援給付(妊婦認定後5万円、その後胎児の数に5万円を乗じた金額を支給)」として実施となることから、今後も妊婦などの身体的、精神的、経済的支援に取り組んでいきます。	趣旨含む	60～64

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
27	「妊娠希望期から」の支援にしないと、出生率は上がらない。「不妊治療への支援」に踏み込んだ計画にしてほしい。 不妊治療による出生率は増加しているが、市内の不妊治療は一つの病院に集中しており、予約が取りづらい。不妊治療へのサポートとして、以下の施策を検討してほしい。 ①保健センター保健師による、妊娠希望期から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない、妊娠希望者への相談体制、心理的サポート体制構築 ②県の不妊治療相談へつなぐサポート ③市の不妊治療施設への助成 ④市内不妊治療施設に胚培養士就職斡旋 ⑤日立総合病院にて不妊治療が出来る体制を整える ⑥市外不妊治療施設に通院する際の交通費を助成	1	不妊治療の相談については、県の不妊相談窓口などの周知を図り、妊娠希望者のサポートに努めます。 ③～⑥については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	趣旨含む	60～62
28	不妊症に対する助成とあるが、市内で不妊治療を受けることが出来る病院がほとんどない。治療費の助成もよいが、治療ができる病院が少ないことに対する市の考え方が知りたい。	1	市内における不妊治療体制の確保を図るため、関係医療機関と協議するとともに、産科診療所などの開業を支援するため、診療所開業等奨励事業を継続します。	趣旨含む	65
29	産科・小児科が少ないため、対策をお願いしたい。	1	産科や小児科を含めた診療所の開業を支援するため、診療所開業等奨励事業を継続します。 また、小児科については、デジタルを活用した小児医療体制の整備に努めます。	趣旨含む	65

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
30	産後ケア事業、こんにちは赤ちゃん訪問は、どのようなことを行っているのか。	1	産後ケア事業は、家族などから十分な支援が受けられない出産後1年未満の産婦及び乳児を対象に、心身のケアや育児のサポートを行い、産後も安心して子育てができるよう支援を行っています。具体的には、授乳指導、育児相談、休息などのケアが医療機関、助産所、訪問で受けられます。 こんにちは赤ちゃん訪問は、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、不安などを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭には適切なサービスに結びつけるなどの支援を行っています。	趣旨含む	63
31	離乳食の作り方や月齢に合わせた食の組み合わせなどについて、チラシなどで教えてほしい。	1	生後4～6か月の乳児の保護者を対象に実施している離乳食教室において、離乳食の進め方など詳細を記載したリーフレットを配布しています。リーフレットは、市ホームページにも掲載しています。	趣旨含む	63
32	ブックスタートは、絵本の読み聞かせをして、本を渡すだけではなく、赤ちゃんとのふれあいの大切さや日立市の子育て支援などを説明するところに意義がある。ブックスタートを今後も継続し、次期計画の取組に加えてもらいたい。	2	赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを行い、絵本を通した親子のふれあいを伝えながら、絵本や子育てに関する情報提供に引き続き取り組んでいきます。	趣旨含む	69
33	ファミリー・サポート・センター事業について、隣接の東海村では、平日の時間当たりの利用料800円の内300円が助成される。日立市でも同様の支援を行ってもらいたい。	1	ファミリー・サポート・センター事業の利用料については、本市では、平日1時間600円となっています。 なお、産前・産後の家事育児支援事業として、自宅にヘルパーを派遣する「産前産後ママサポート事業」を無料で実施しています。 今後も近隣市町村の実施状況などを見極めながら施策を検討いたします。	参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
34	こども誰でも通園制度は、保育士の負担が増加し、在園児に影響が生じると考える。 また、短期間の関わりであるため、個々の把握が難しく、保育士が行う保護者への支援が増えると考ええる。 この制度は、国の施策であるため、今後導入されると思うが、保育士のメリットや、保育士の負担が少なくなるような支援が必要である。	1	こども誰でも通園制度は、御意見のとおり、保育士など職員の負担増加や在園児の保育への影響などが懸念されており、現在、国の検討会において、検討が行われているところです。 国の対応案としては、現在、全国118の自治体で行われている試行的事業の状況などを踏まえ、実態に即した運営費の補助単価の設定をはじめ、職員の事務負担を軽減し、こどもたちと向き合う時間を確保するために、利用者の情報や予約管理などに対応できるシステムを構築し、運用の開始に向けて準備を進めています。 また、環境に慣れるまでに時間がかかるこどもに対しては、当面の間、親子通園を取り入れることにより、親子と職員双方の不安解消を図ることとしています。 本市としましては、職員への支援策が講じられ、本制度の円滑な運用が図られるよう、国の方針などに基づき、適切に対応していきます。	趣旨含む	52、56
35	病後児保育を日立駅や市役所付近につくってほしい。	1	病後児保育事業については、保育施設などに併設された専用スペースなどにおいて、市内4施設で実施しています。 また、ファミリー・サポート・センター事業において、自宅などでの病後児預かりを行っています。 本庁地区での実施については、今後の施策検討の課題とさせていただきます。	参考	—
36	一時預かりについて、内職などで保育園の利用要件に満たない場合は、一時預かりを利用して仕事をしている方がいる。 日立市では週3回の利用が上限となっているが、園の行事などによっては利用できないこともあるため、利用回数を増やすか、上限を撤廃してほしい。	1	一時預かりは、保育園などを利用していない家庭において、一時的に保育が困難となった場合に乳幼児を預かる事業であり、通常の保育と制度の趣旨が異なるため、利用上限日数を週3日までとしています。 週の利用上限日数の引上げなどについては、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
37	東京都では 144 時間を限度として、シッター利用費用が無料になる施策を実施しており、使用している方が多いと聞くと、市として同様の施策に取り組む考えはあるのか。	1	本市では、ファミリー・サポート・センター事業や無料でヘルパーを派遣する産前・産後ママサポート事業などを実施し、子育て環境の整備推進に努めています。シッター利用の費用助成については、地域性や利用ニーズを踏まえ、先進都市の取組について調査研究に努めます。	参考	—
38	児童クラブにおいて、放課後を安心・安全に過ごすことは第一義であるが、スポーツや学びの面で、希望する児童にレベルアップできる場の提供を検討してはどうか。(民間では英会話クラス、美術クラスなどを取り入れている。)	1	児童クラブ利用者のニーズを踏まえ、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	参考	—
39	放課後児童クラブを利用するこどもが増える中、職員の数が足りていないと感じている。職員が十分に確保されることで、こどもたちが安心してのびのびと生活することができる居場所になると考える。	1	公設児童クラブにおいては、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準条例に基づき職員を配置しています。 クラブの状況やニーズに配慮し、こどもたちが安心して過ごせるよう環境づくりに努めていきます。	趣旨含む	59、72
40	こどもが保育園に通うと風邪などに感染することが増え、親は仕事を休みがちになる。 仕事と子育ての両立支援として、リモートワークやフレックスタイム制の導入、社内託児所の整備など、働きやすい、こどもとの時間を増やすことができる環境づくりを進めてもらいたい。 また、子育て中の女性を採用した企業に、補助金を出すなど女性が仕事に働きやすい環境をつくってほしい。	3	仕事と子育ての両立支援については、保護者が安心して仕事ができ、ゆとりを持って子育てができるよう、多様な就労形態に対応する保育サービスの提供やワークライフバランスの啓発などに努めています。 また、女性が仕事に働きやすい環境づくりを推進していくため、中小企業に対する啓発を行うとともに、誰もが働きやすい職場環境の整備に取り組む事業者を支援しています。	趣旨含む	71～73

(3)「基本目標Ⅲ 配慮が必要な子どもと家庭を支援する」(対象：配慮が必要な子どもと家庭)に関する意見

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
41	こどもの性被害についての記載がない。表に出ていない親や兄弟などによる性的虐待など、苦しんでいる子どもを救う対策の検討をお願いしたい。	1	性被害防止対策については、学校での犯罪被害防止教育のほか、警察や地域団体と協力した見守り活動や不審者情報の発信などを行っています。 子どもや若者が悩みや困り事を相談できるよう、虐待を含めた各種相談窓口の周知・広報に努めます。	趣旨含む	53、54、77、78
42	虐待やヤングケアラーに対する支援、こどもの貧困問題や配慮が必要な子どもに対する支援は、とても重要である。	2	虐待や貧困、ヤングケアラーなど困難を抱える子どもと家庭については、学校などにおいて早期把握に努めるとともに、福祉・医療などの関係機関が連携し、こどもの意見に寄り添いながら必要な支援につなげています。	趣旨含む	77、78
43	育児休業中に会社が倒産した場合、育児休業手当が受給できなくなる。また、育児ですぐに働けない状態で失業手当も受給できず経済的に困窮(生活保護は受給できない程度)することから、そのような方への支援を検討してもらいたい。	1	経済的に困窮される子育て家庭については、市役所内に設置されている自立相談サポートセンターにおいて相談支援を行うとともに、つなぐハローワークにおいて就労準備などの支援を実施しています。	趣旨含む	79、80
44	多くのお金が必要となる、高校や大学に進学する際の支援をもっと増やすことも大切なのではないかな。	1	子育て世帯の経済的負担の軽減については、18歳までの医療費の助成や給食の無償化などに取り組んでいるほか、教育の機会均等を図るため、経済的な理由によって修学が困難な方に対し、高等学校や大学の入学準備金を含めた奨学金の貸付けを行い、支援をしています。 引き続き、必要とする方が適切な支援を受けられるよう広報に努めます。	趣旨含む	66、67、79、80
45	スクールカウンセラーについて、自分が学生時代、友達から見られることや先生に知られることが嫌で、利用することができなかった。担任の先生との面談を全員が行うなど、気軽に相談できるようにしてほしい。	1	各小、中学校においては、児童生徒からの面談希望に応じるだけでなく、全児童生徒を対象とした教育相談を計画的に実施しています。 また、校内オンライン相談窓口を設置し、児童生徒が学校だけでなく、自宅からも気軽に相談を申し込める環境を整えています。	趣旨含む	83

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
46	外国籍の人たちへの配慮は具体的にどのような取組を行っているのか。外国籍のこどもが増えている。	1	外国籍のこどもへの支援については、希望する学校に音声翻訳機の貸与や通訳ボランティアの派遣を行い、対象児童生徒の学校生活を支援しています。 また、幼児施設においては、音声翻訳機を配備し対応しています。	趣旨含む	84
47	外国から日本にきた家庭の保護者は日本の学校や進学の制度についての理解が難しいため、こどもが自分の将来について保護者に相談することを諦めているという話を聞いた。外国籍のこどもとその保護者が一緒に将来のことを話し合えるように、対策があれば良いと思う。	1	学校では、三者面談などで理解の共有に努めています。保護者がこどもの進学や将来について理解が不十分な場合は、面談などの機会を設け、対応することもあります。 また、児童生徒にはキャリア教育や教育相談などを活用して、将来について考える時間を確保しています。 今後も必要な情報提供などを行いながら、外国籍のこどもやその保護者に対して支援していきます。	参考	—
48	将来、保育士を目指しているが、外国籍のこどもや保護者とどのように関わっていけばよいか。 保育者がこどもを理解することやこどものことを保護者と共有できるようにサポートがあると心強い。	1	外国籍のこどもたちが、個々の状況に応じて、のびのび健やかに成長できるよう、保護者を含めた必要な支援の在り方について検討を進めます。	趣旨含む	84

(4)「基本目標Ⅳ 若者の希望の実現と社会的自立を応援する」(対象：若者本人とその家庭)に関する意見

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
49	結婚して、こどもが欲しいが収入が追いつかず先延ばしにする家庭がある。 結果、高齢出産のリスク、不妊治療費の負担増や出産数の減少が起きるので、20代に結婚や出産を促すような支援をした方が出生率も上がる。出生率を上げるため、結婚・妊娠適齢期の20代への支援を手厚くしてほしい。	1	少子化の要因は、晩婚化・未婚化のほか、結婚や出産に対する価値観の変化など複合的な要因があるものと認識しています。 若者が希望に応じて、結婚の夢がかなえられるよう出会いのきっかけづくりや、結婚新生活に対する経済支援など、引き続き少子化対策の推進に取り組みます。	趣旨含む	60、61、87
50	社会的に孤立し、困難に直面する若者とその家族に対する支援は、家族会など心を開いて語り合える場が有効と聞いた。 家族会のように集まれる場の提供や、会の主催者への支援を進めてほしい。	1	ひきこもり当事者やその家族からの相談を、自立相談サポートセンターでお受けし、社会参加のきっかけづくりを支援しています。 また、日立市社会福祉協議会では、こどもから高齢者、精神疾患や家に閉じこもりがちな方々の交流の場を目的とした「ふれあい菜園（東滑川町）」を開設し、誰もが集える居場所づくりを実施しています。 加えて、日立市社会福祉協議会は、県内 NPO 法人の“ひたちゃかい”（本人や家族の集いの場）の開催を支援するため、気軽に交流できる場として会場を提供しています。 本市では日立市社会福祉協議会の活動をとおして、当事者や家族の困りごとに寄り添う支援をしていきます。	意見反映	88、89

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
51	ひきこもりの人と医療をつなぐことも必要である。今はまだ事例は少ないかもしれないが、社会とのつながりをもたせることも重要だと思うため、取組の項目に入れてはどうか。	1	ひきこもり者への支援については、対象者の了承を得た上で関係機関と連携し、日常生活、社会生活、就労準備などの支援を実施しています。 また、本人やその家族などの悩みを抱える方が相談できる窓口を広報するとともに、相談に対しては、関係機関と連携して適切に対応します。ひきこもり者への支援については、対象者の了承を得た上で関係機関と連携し、日常生活、社会生活、就労準備などの支援を実施しています。	趣旨含む	88、89
52	ひきこもり対策は発見が難しかったり、理由が様々なため、とても難しいと思うが、どのような対策がなされ、今後どのような対策をしていくのか。	1	さらに、本人やその家族などの悩みを抱える方が相談できる窓口を広報するとともに、相談に対しては、関係機関と連携して適切に対応します。		
53	ひたちコドモ電話や青少年の悩み事面接相談について、こどもや若者が事業を知っているのか、相談しやすい環境が整っているのか疑問である。 また、事業を知っていても、相談相手が自分のことを知らない相手ではないため相談する勇気が出ない。 もっと気軽にできる相談窓口ができればよい。	1	ひたちコドモ電話や青少年の悩み事面接相談については、小学校、中学校及び高等学校の全児童・生徒に相談事業の概要を記載した PR カードを配布し、事業の周知を行っています。 また、子どもが相談しやすいよう放課後の時間や土・日も相談に応じており、安心して相談できるよう相談内容の秘匿、傾聴などを徹底しています。 今後もこどもたちが気軽に相談できる体制づくりに努めます。	趣旨含む	80、88 ページ
54	若者かがやき事業の取組により、若者が充実した生活が送れると思った。しかし、知らない人が多いのではないか。日立市での若者に対する支援は何をやっているのか、どんなメリットがあるのか、もっと周知してほしい。	1	市報やホームページ、SNS など多くの若者が目にする広報媒体を活用し、引き続き、若者応援に関する事業周知を行うとともに、分かりやすい広報に努めます。 今後も若者が挑戦できる環境づくりを進めてまいります。	参考	—

(5) その他の意見

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
55	家庭、こども、若者への経済的な支援、心の支援などたくさん便利な支援があるが、実際にそれらの支援があることを知らずに苦労してしまっている家庭は多くある。市の支援や相談先を記載したチラシをスーパーに置くなど、市が行う多くの支援について、誰もが手軽に情報を入手し、利用しやすいような環境を作るとよい。	1	市の施策や相談先の周知については、市報やホームページのほか、ホームページや公式 LINE などの SNS により情報発信に努めています。こどもや子育て当事者に、必要な支援が届くよう、更なる情報発信に努めます。 なお、11 月のオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンにおいて、市内の幼児施設、小・中・特別支援学校に在籍しているこどもたちに相談先の記載があるパンフレットを配布しています。令和 6 年は、スーパーに児童虐待防止・ヤングケアラーについてのポスター掲示を行いました。	参考	—
56	市外や県外から転居していきた方に対しても、優しく受け入れるまち、市民であってほしい。	1	本市では、妊娠・出産から子育てまで、切れ目ない支援を行っており、こどもと子育てに優しいまちを目指しています。	参考	—
57	妊娠出産から、児童虐待、子育てそして若者まで切れ目ない支援がされていてよいと思った。	1	今後も、本市に住みたい・住み続けたいと思っていただけよう、子育て環境の整備推進を図っていきます。		
58	こどもの生活習慣の「ア 朝食の有無」の次に、「イ 仕上げ磨き」が突然出てきているが、「イ 歯の仕上げ磨き」としてほうがいいのではないか。	1	御指摘の通り、「イ 歯の仕上げ磨き」との表記に修正します。	意見反映	29
59	少子化対策に関して、具体的にはどのような施策を考えているのか。	1	少子化の要因は、晩婚化・未婚化のほか、結婚や出産に対する価値観の変化など複合的な要因があるものと認識しております。 若者が希望に応じて、結婚の夢がかなえられるよう、出会いのきっかけづくりや、結婚新生活に対する経済支援、子育て支援サービスの充実などにより、少子化対策の推進に努めます。	趣旨含む	計画全体
60	日立市は、様々な施策を行っており、お誕生おめでとう事業や産前・産後ママサポート、中学生のスクールカバンなど、知らない支援があったため、これからも知っていきたい。	1	こども・若者の方に市の取組を理解していただけるよう、更なる情報発信に努めます。	参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
61	こども・若者の人口が減っているが、若者が日立市に残ってくれるようにするために、どのような支援をしていくのか。	1	本市では、「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生・人口減少対策に取り組んでいます。 特に、若者に対しては、魅力的な仕事の創出を始め、マイホーム取得助成や奨学金返還支援、さらには切れ目のない子育て支援などの様々な施策に取り組んでいます。 今後も、施策の充実を図り、若者に住みたい住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを進めます。	趣旨含む	計画全体
62	妊娠・出産からの支援を行うことや、こどもだけでなく若者への取組も行うことを視野に入れた計画で素晴らしいと思った。今の社会状況をみて、人々のニーズに寄り添った計画だと感じた。	1	いただいたご意見は、関係課所と共有するとともに、今後の施策展開の参考とさせていただきます。	参考	—
63	多くが親に対する支援であり、こども自身に対する支援が少ないのではないか。	1	すべてのこども・若者が幸せで心豊かに成長できるよう、教育・保育の充実や多様な体験の機会づくり、安全対策などに取り組んでいます。 こども・若者の方に市の取組を理解していただけるよう、更なる情報発信に努めます。	趣旨含む	50～59
64	「こども・若者が未来への夢や希望を持って成長できるまち」という基本理念がとてもよい。 こどもがポジティブな気持ちで自分らしさや、たくさんの夢を持ち成長していける環境をつくることこそがこどもにとっての幸せに繋がるのだと感じた。	1	基本理念に基づき、すべてのこども若者が心豊かに成長し、将来にわたって幸福な生活ができるよう取組を推進します。	参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
65	小学校就学前の親が子育てに関して日常に悩んでいること、又は気になることについて、「こどもの時間の確保や自分のやりたいことが十分にできない」と答えた人が増加しているが、その悩みを解決するにはどのような方法があるか。 また、相談相手がいなかったり、配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない人たちへの支援として何か行っていることはあるか。	1	子育て当事者が不安感や孤独感を抱くことなく、こどもの成長に喜びや楽しさを見出せるよう、教育・保育の環境整備や経済的負担の軽減、仕事と子育ての両立支援など子育て支援施策を推進し、ゆとりを持ってこどもと向き合えるよう支援します。 また、誰もが悩みや困りごとを相談できるよう、更なる相談体制の充実に取り組みます。	趣旨含む	60～84
66	子育て世帯の家計状況について、赤字の人に対して支援が行われているのはある程度想像できるが、赤字でも黒字でもなくぎりぎりの生活を送っている人に対して、何か施策に取り組んでいるのか。	1	子育て家庭への経済的負担を軽減するため、18歳までの医療費の助成や給食の無償化などに取り組んでいます。 市の取組を理解していただけるよう、更なる情報発信に努めます。	趣旨含む	66、67
67	いじめの態様件数の割合について、小学校でも中学校でも「冷やかしゃからかい」が最も多い数値になっているが、この割合を減らすことは可能なのか。	1	各学校において、「冷やかしゃからかい」が多い現状を踏まえ、学級活動や道徳の授業を通して、相手の気持ちを考えた言葉遣いや態度について学習しています。 さらに、人権教育の充実を図り、いじめの未然防止に努めてまいります。	趣旨含む	50、83
68	計画の中で現在何を優先的に進めているのか。	1	本計画では、「こども・若者が未来への夢や希望を持って成長できるまちひたち」を基本理念として掲げ、こども・若者が将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指していきます。	趣旨含む	45
69	市では多くの取組を実施しているが、自分たちのところへ届いていないことが残念だと感じた。今はSNSの時代のため、InstagramやTikTokなどを利用することで、若者にも情報が届くのではないか。	1	施策の対象であるこども・若者の方々に、市の取組の内容が伝わるよう、今後ともデジタルなどを活用した情報発信に努めます。	趣旨含む	50、69

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
70	男性もメイクをすることや、性別にとらわれ ない、自分らしさを求められる時代と感じて いる。 イベントを開催し、多様性について広められ るといいのではないかな。	1	性別に係る無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を払拭するため、男女共同参画強調月間（10月）を中心に講演会などを開催し、幅広い世代に向けた分かりやすい広報・啓発活動を引き続き行うとともに、SNSなどでの発信にも力を入れていきます。	参考	—
71	データを基に分析しているのは、わかりやす かったが、現計画の効果検証をしているのが不 明確で、現計画との違いが分かりにくい。 また、目標を達成するための具体的な取組や、 各取組の根拠や背景が読み取れなかった。	1	計画書においては、施策の方向性ごとに「現状と課題」を記載するとともに、具体的な取組名と事業概要を記載し、目標を達成するための取組や背景が分かるよう記載することとしています。	趣旨含む	50～89

5 意見の概要と市の考え方【子ども向けやさしい概要版】

(1)「基本目標Ⅰ 未来を担うこどもの成長を支える」(対象：こども本人)に関する意見

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
1	イオンやコストコなど身近に遊びに行ける施設を増やしてほしい。【高校生】	1	大きな店を出すためには、広い土地を準備したり、何年もかけて建物を建てたり、経営がうまくいくかなど計画を立てたり、たくさんの課題を解決することが必要です。 市では、日立駅前のヒタチエに、もっと多くの方に来てもらえるよう、取り組んでいきます。	参考	—
2	ラウンド1などの遊べる場所を増やしてほしい。【中学生】	1	市内には、ヒタチエやシーマークスクエアのほか、きららの里や動物園をはじめ、多くの施設があります。 これからの施設が協力して楽しいイベントを行うなど、もっと楽しめる場所となるよう取り組みます。	参考	—
3	わざわざ日立に来るような場所をつくってほしい。例えばレジャーランドの大型リニューアルなど。【中学生】	1		参考	—
4	友だちの家ではない場所でも、ゲームで遊んだり、安心してみんなで集まれる場所があると、もっと楽しくなると思う。【小学生】	1	皆さんが、健やかで幸せに成長できるよう、みんなで集まって安心して楽しく過ごせる多くの居場所づくりに取り組みます。	趣旨含む	59
5	保育園、幼稚園、小学校、すくすくセンターや学童クラブなどでボランティア活動ができるような環境や機会を整えてほしい。【高校生】	1	公立の小学校で行っている児童クラブでは、高校生のボランティアを受入れています。 また、夏休みのボランティアを、ホームページなどで募集しているほか、保育園でもボランティアを受入れています。	参考	—
6	大学生、障害者、高齢者など多くの世代と関わりをもてる機会がほしい。【高校生】	1	様々な人と交流したり、いろいろな体験を行うことは、こどもの豊かな心と身体の成長にとっても良いこととされています。たくさんの体験活動の機会が作れるよう取り組みます。	趣旨含む	57、58
7	最新の技術や AI に気軽に体験出来る施設やイベントを開いてほしい。【小学生】	1		参考	—

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
8	春夏秋冬の季節ごとに咲く花や植物を 6 号など大通りに植えることで、四季を感じたい。【高校生】	1	市で管理している道路沿いの樹木などは、道路を利用する方や地域の安全を第一に考え、計画的に植えられています。 いただいた意見は、これからの検討の参考にします。	参考	—
9	他校との交流を増やしてほしい。【中学生】	1	陸上記録会などの行事は減少していますが、タブレットや電子黒板などを活用して、他校との交流の場が増えるよう取り組みます。	参考	—
10	教育プラザのような 自主学習ができる 環境や施設を増やしてほしい。 また、塾以外で、勉強を気軽に教えてくれるような大学生や高校生の先輩などと、つながる機会や情報がほしい。【高校生】	1	自主学習できる場所をもっと増やしてほしいという意見などは、教育委員会を含めた市役所の中で情報共有して、これからの取組の参考にします。	参考	—
11	教育プラザの自習室が満席で利用できないことがあるので、勉強ができる場所を増やしてほしい。【中学生】	1		参考	—
12	先生方の負担になってしまうかもしれないが、放課後、学校で勉強できる環境を整えてほしい。【中学生】	1		参考	—

(2) その他の意見

No.	意見の概要	意見数	市の考え方	反映状況	ページ
13	自分はこの日立に生まれてきて良かったと、誇れるまちになるように、活気のあるワクワクするようなまちづくりをして欲しい。【高校生】	1	地域の伝統行事、歴史や文化を学ぶ機会を作り、ふるさとに親しみをもってもらえるよう取り組んでいます。 皆さんに日立市に住み続けたいと思ってもらえるよう、これからもまちづくりに取り組みます。	趣旨含む	57、58
14	ヒタチエにプラザやロフト、洋服屋さんを増やして欲しい。【中学生】	1	ヒタチエには、空いている場所がまだあるので、皆さんが行きたくなるようなお店に入ってもらえるよう、働きかけをしていきます。	参考	—
15	難しい内容で、よくわからなかった。【年代不明】	1	こどもの皆さんにも、この計画の目的や内容が伝わるように、分かりやすくする工夫や広報をしていきます。	参考	—
16	学校には更衣室があるが、着替える時は女子が中心に使っていて、男子は教室で着替えることがある。男子でもプライバシーがあるので、公平にしてくれるとうれしい。【小学生】	1	いただいたご意見は、これからの参考にさせていただき、プライバシーが守られるよう取り組んでいきます。	参考	—
17	お店がもっとたくさんできて、日立市のみりよくが多くの人たちに伝わるようにしてほしい。【小学生】	1	市内にお店を出す方を応援するために、お店を始めるためのお金の助成などを行い、日立市がもっとみりよく的になるよう取り組んでいます。	参考	—
18	パパ、ママともっとたくさん遊びたい。【小学生】	1	お父さんやお母さんが時間にゆとりを持って、こどもと遊べるように、子育てを応援する取組をすすめていきます。	趣旨含む	60～76
19	バスや電車などの本数を増やしてほしい。(電車やバスで通学しているが、本数が少ないと感じた)【中学生】	1	こどもから高齢者まで、安心して暮らせるまちづくりを目指して、国・県・市・交通事業者などが力を合わせ、誰もが交通機関を利用しやすくなるように考え、取り組んでいきます。	その他	—
20	日立市の人口が年々減少しているので、移住者を増やすような取組をいっぱいしてほしい。【中学生】	1	たくさんの方々が日立市に移住し、住み続けてもらえるように、市のみりよくを伝え、移住者を支える取組を行います。	参考	—